



4年度表彰では県内から唯一の受賞となった畠山さん(右)

長年の自然保護活動が評価

畠山庄五郎さんが4年度の環境大臣表彰を受賞

自然公園保護管理員の畠山庄五郎さん＝北寄木＝が、4年度の自然公園関係功労者環境大臣表彰を受賞し、3月3日に佐々木孝弘市長を表敬訪問しました。

畠山さんは平成8年から十和田八幡平国立公園の美化や清掃、危険個所の情報収集、啓発などに尽力。その功績が認められ今回の受賞となりました。畠山さんは「訪れる人が歩きやすいように、という思いで仕事に向き合った。皆さんに支えられて活動することができた」と関係者への感謝をにじませました。



卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました(17日、平笠小)

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

投票するキミはカッコいい

選挙ポスターコンクールで中塚さんが最優秀賞

4年度明るい選挙啓発ポスターコンクールの県審査で、小学校の部の最優秀賞を受賞した中塚紗良さん(当時大更小6年)が2月27日、市役所を訪れ星俊也教育長と澤口進選挙管理委員長に受賞の報告をしました。

作品は、県内43の小学校などから応募のあった714点から選ばれたもので、投票で新しい未来が拓かれていく様子が描かれています。中塚さんは「高校生に投票を促すために表現を工夫しました」と作品の意図を説明。県では今後1年間、作品を選挙啓発に活用します。



受賞を喜ぶ中塚さん(中央)と星教育長(左)、澤口委員長(右)

思い出を胸に新たな出発

市内小・中学校14校で卒業証書授与式を挙行

市内小・中学校の卒業証書授与式は3月11日から18日にかけて、各学校で行われました。

松尾中では、倍賞千恵子さんが作詞した愛唱歌「約束」と文化祭で披露した「群青」の2曲を全校生徒一丸となり合唱。卒業生たちは新たに始める生活に希望を持ちながら母校を後にしました。

千葉美空さんは「全員が一つになった文化祭が思い出。将来は担任の先生のような教員を目指して頑張りたい」と決意を新たにしました。



同胞の思いをつなぐ「約束」を歌う卒業生と在校生(松尾中)



お祝いのメッセージを読み、決意を新たに寄木小卒業生

多くの声に見守られ門出

卒業式に地域の人からのメッセージボード設置

3月17日に卒業式が行われた寄木小では、玄関前に地域の人や在校生からのメッセージが書かれたボードが設置され、にぎやかに春の門出を祝いました。

設置は今年で4回目。コミュニティースクールコーディネーターの伊藤政子さん＝南寄木＝は「コロナで来賓や在校生の出席が制限され、寂しい式にならないようにとの思いで始めた。今回もさまざまな人の協力でボードを設置できた。卒業生は地域の人に見守られていることを忘れないでほしい」と思いを込めました。



両親への感謝と今後の抱負を語る工藤さん(右)

持ち味生かし飛躍を誓う

日本陸上界を席巻した工藤信太郎さんが訪問

U20日本陸上競技選手権大会での大会新記録など目覚ましい活躍を見せた工藤信太郎さん(西根中、一関学院高卒)は3月6日、佐々木孝弘市長を表敬訪問し、応援への感謝と駒澤大への進学を報告しました。

佐々木市長は「日本選手権でのラストスパートには驚いた。進学後もけがに気を付けて頑張ってもらいたい」と期待を寄せました。工藤さんは「持ち味のスプリント力を発揮し、世界選手権や五輪でメダルを狙える選手になりたい」とさらなる飛躍を誓いました。



元IBCアナ河辺邦博さんが講演。体験談と話術で会場は感心と笑いに包まれる(2月22日、大更コミセン)



田頭小4年(当時)の工藤哲之進君が、ドコモ未来ミュージアム創作絵画コンクールで入選(3月7日、田頭学童)



平高生が地熱学習の成果報告と考案した地熱食材レシピを発表(2月21日、平舘高校)



3月1日で100歳を迎えられた畠山松治郎さん＝大石平＝これからもお元気で(3月1日、(特養)麗峰苑)



入隊予定の川又拓磨さん(右)と齊藤廉さんを家族や関係者らが祝福(2月26日、市自衛隊入隊予定者激励会)



市内での交通死亡事故ゼロが9カ月継続したことから県警本部長から賞状が贈られる(2月22日、市役所)